



METI-RIETIシンポジウム

震災から復興する日本の進路



原山優子
OECD科学技術産業局

24/04/2012

背景

- OECD設立50周年記念(2011)
 - Better Policies for Better Lives
 - Better Life Index
- OECD閣僚会議(2012/5/23-24)
 - 次の50年に向けた新たなアプローチ
- シンポジウム(2012/4/18)
 - New Science-Based Tools for Anticipating and Responding to Global Crises
 - **Carlo Jaeger**, Potsdam Institute for Climate Impact Research
 - 安西祐一郎, JSPS

焦点

- 災害に直面して
 - 被害への対応(直接的・間接的)
 - 既存の経済・社会システムの死角・限界を読む
 - 復興に向かう
 - 経路依存性からの脱却
 - 新たなモデルの実装の可能性
 - 新たな価値体系の模索
- ↓
- 誰がイニシアティブを取る？
 - 政府の役割の再考(中央vs地方、県vs市町村)
 - 情報の非対称性、補完性、連携 ⇒ コンピテンシーの配分
 - アクターの協働(+社会的責任)

OECDにおける論点

- 経済金融危機
 - 旧来型の政策ツールの限界(経済成長)
 - 新興国の台頭(メンバー国の相対的位置づけ?)
 - 社会的課題への対応(雇用対策)
 - + 持続可能な開発の要求
 - + 地球的規模の課題への対応
- 新たなアプローチ?
 - 広義のイノベーション
 - 無形資産のウェイト
 - 変革するGlobal Value Chainsにおけるポジショニング
 - 「新」産業政策
 - ⇒ 政策の精査(負の効果、相互作用)
 - ⇒ Whole-of-Government Approach(全政府的アプローチ)
 - ⇒ OECDのD(Development)の動員

政策ツール

- 災害
 - 外生的ショック: 人命への影響、社会インフラの破壊、局地的現象、カスケード現象
 - 短・中期的影響: スコープ、スケール?
- 命題
 - 局地的な解 (local) + 経済成長への道筋 (macro)
 - 所与の条件: 経済成長源の多様化・多極化、地球的規模の課題への対応
- 従来型の政策ツールを超えて・・・
 - マクロ経済政策 (財政政策、金融政策)
 - 制度改革、構造改革、・・・
- 方向性
 - 社会基盤の復興 + 未来への投資
 - 社会実験 + 検証・学習 ⇒ 波及効果
 - 分散型意思決定メカニズム + Whole-of-Government Approach
 - 社会厚生 (国レベル & 国際レベル) + 私的利益